

歯科材料 6 歯科用印象材料
管理医療機器 歯科用寒天印象材 35862000

FEED 寒天印象材

【禁忌・禁止】

本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理】

形状：ゲル状

該当規格：JIS T 6512：2016「歯科用寒天印象材」タイプ 3A

構造：寒天、精製水、着色材、防腐剤（原材料の一部に大豆を含む）その他

色調：バイオレット、ブルー、グリーン

原理：本材は可逆性を含有する印象材であり、加熱によって溶解し、冷却によりゲル化する。

【使用目的又は効果】

本材は、口腔内での印象採得に用いる。

【使用方法】

		カートリッジタイプ
歯科材料加温器		***寒天印象材用コンディショナー
加熱条件	溶解温度	温度：98～100℃
	ドライ	時間：15～17 分間
	ウェット	時間：5～7 分間
使用温度範囲		保存温度：60～65℃
使用トレー及びシリンジの種類		歯科印象採得用トレー 寒天用カートリッジシリンジ
アルギン酸塩印象材の種類		JIS T 6505 に適合するアルギン酸塩印象材
石膏の種類		JIS T 6600 のタイプ 3、タイプ 4 又はタイプ 5 に適合する硬質石膏

- 寒天印象材用カートリッジに装填した寒天印象材を上記加熱条件に従い、溶解します。
- 溶解した印象材をストレージ温度（60～65℃）にて 10 分以上係留すると使用可能となります。また、この温度での保管できる時間は 8 時間を限度とします。
- アルギン酸塩印象材を素早く練和して歯科用トレーに盛ります。
- 歯牙に注入された寒天印象材の上から、アルギン酸塩印象材を盛ったトレーを寒天印象材注入後、すぐに圧接します。寒天印象材は、アルギン酸塩印象材により冷却、硬化します。口腔内保持時間は、アルギン酸塩印象材メーカーの指定に準じて下さい（目安は 3～4 分です）。JIS T 6512：2016 の試験を行う場合における口腔内保持時間は最低 15 分です。
- アルギン酸塩印象材の硬化を確認後、印象内面にエアーを吹き込み、内圧を解除し、歯軸方向にトレーを撤去します。
- 印象面を確認し、水洗の後、印象面の水分を取り除き、すぐに石膏を注入し、保湿箱にて硬化させます。

【使用上の注意】

- 開封後はできるだけ速やかに使用すること。
- 他の製品と混用しないこと。
- 使用するトレー及びシリンジの種類：歯科印象用トレー及びシリンジ

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ①本材はボイル時、ストレージ時に高温になるため、火傷などしないように取り扱いに注意すること。
52℃以上の温度で押し出した場合、口腔内組織に対して稀に疼痛又は傷害を起こす可能性があるため注意すること。
- ②印象採得時に、高温過ぎると組織に火傷が生じるので患者の手に少量採って、適温であることを確かめてから使用すること。

- ③ドライコンディショナーでの溶解温度が 100℃を越えると、破裂の恐れがありますので機器メーカーの指示に従い、正しく設定すること。
- ④繰り返し溶解は、品質劣化の恐れがあるため、最初の溶解で使い切ること。また、本品は 1 日の使用量を判断して溶解すること。
- ⑤保存温度が低すぎるとゲル化してぼそぼそ状態になることがあり、この場合は、再溶解して保存温度の設定をあげること。
- ⑥寒天印象材やアルギン酸塩印象材のいずれかが表面硬化を始めると、接着力が低下するのでタイミング良く行うこと。
- ⑦ポスト印象の際には症例に応じて補強ピンを使用すること。
- ⑧シリンジ針内でゲル化した寒天が詰まり、寒天が出ない場合は清掃針で取り除くこと。
- ⑨市販品のカートリッジシリンジの中には針が短く、先端のゴムパッキンを穿孔しないものがあるので、良く確認すること。
- ⑩キャップ及びヘッドは確実に閉めること。
また、ウェットタイプのコンディショナーは先端に水が入ることがあるため、必ず使用前に少量出してから使用すること。出血している歯茎部などの印象採得は、親水性の寒天とはいえず不鮮明になる恐れがあるので、歯肉圧排により止血してから印象採得を行うこと。
- ⑪採得した印象は、血液、唾液などを十分に洗浄した後、必要に応じ消毒すること。消毒は専用の消毒剤（有効成分：エタノール、次亜塩素酸等）を用いてメーカー指定の方法で行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

本材は、直射日光を避け、温度変化の少ない所で保管すること。禁凍結。

〔有効期間〕

本材は、包装に記載の有効期間までに使用すること。
〔記載の有効期間は、自己認証（当社データ）による。〕

【取扱い上の注意】

- 1) 寒天印象材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- 2) 本材の使用により発疹などの過敏症状があらわれた患者には使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
- 3) 本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は本材は使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こした場合には使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
- 4) 本材は、目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
- 5) 感染防止のため、1 患者、1 本を使い切ること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社ユーデント
及び製造業者 千葉県千葉市美浜区浜田 2 丁目 25 番地
TEL：043-213-8151（代）
FAX：043-213-8152

販売業者 フィード株式会社
商品インフォメーションデスク
TEL：0120-004-504